

キャンセル

parkrunは年間を通して毎週開催するとなっておりますが、イベントチームは、参加者の安全が危険にさらされている場合やコースが利用できない場合は、イベントをキャンセルすることができます。

イベントがキャンセルされる最も一般的な理由は次の通りです。

- 天候 - コースが浸水している、凍結している、強風など。その他、コースの一部が通られなくなっている場合。
- 稲光 - 稲光がしている、もしくは近辺で見られる場合。
- 他のイベント - parkrunはたいてい公共の場で開催しているので、他のイベントやお祭りなどが同じ場所を使っている場合。

ボランティアが不足しているためにキャンセルされることもあります。これは望ましくありません。そのため、このような状況になった場合、イベントチームはボランティア募集をするサポートを受けるため、アンバサダーまたはparkrun本部に連絡してください。

キャンセル方法

イベントチームがキャンセルするには下記の方法に従ってください。

- WebFMSのメニューから「event cancellations」を選択し、表示される順に従って、イベント名、キャンセルする日とその理由を日本語で記入してください。
- 上記の入力がイベントホームページに反映されます。トップページとニュースページ上部の赤のバナーに、WebFMSに入力した内容が表示されます。ボランティア当番表のキャンセルする日には「no event」と入ります。これらが反映されるまでに、WebFMS入力後1時間ほどかかる場合があります。

事前にキャンセルの決断をされた場合は下記の作業も必要となります。

- キャンセルになる日に当番のボランティアの方々に中止をお知らせする。WebFMSの「volunteer rosters」から「event actions」タブにある「send reminder」をクリックしメールを一斉配信します。チームは場合によってメールの文面を編集してください。
- ソーシャルメディアや、キャンセル日前のイベントのスタート前説明で中止の告知をしてください。

状況によってはスタート直前やイベントの最中にも、イベントが中止される場合があります。

当日にキャンセルすることになった場合は、次の作業が必要になります。

- その場所が安全であれば、通常のスタート説明の場所でキャンセルにする旨とその理由をアナウンスする。
- イベントホームページのニュース欄で、スタート直前に中止になった状況と理由をお知らせする。
- ソーシャルメディアの投稿でコミュニティにイベントがキャンセルになったことを告知する。
- 5キロのparkrunでは下記の画像を使用することができます。



イベント
休止

イベント
休止





イベント中止



イベント中止

<重要> イベントチームは、当日すでにボランティアの方々が到着していても、キャンセルした日のボランティアを確定してはいけません。ボランティアの方々のご奉仕には感謝しますが、ウォーキングやジョギング、ランニングでの参加者がゼロの場合のリザルト処理システムに問題が生じることとなります。

キャンセルは決して取り消してはいけません。parkrun参加者たちはイベントからのアナウンスを真剣に受け止めます。キャンセル予定日にイベントチームが行ってみて開催できそうだからといって、イベントチームの気が変わったというようなキャンセルの取り消しはしないでください。そして何より重要なことに、事前のキャンセルのお知らせにより他の予定を立てた人たちにとって不公平となります。

当日のランディレクターにイベントを中止する最終決定権があります。これは遵守されなければなりません。ランディレクターは常に慎重に行動し、仲間のボランティアはその決定を支持してサポートしなければなりません。